

2014 **そうじゃ吉備路マラソン**

2月23日 日 号砲!!

2月23日(日)、いよいよそうじゃ吉備路マラソンの火蓋が切られます。県内外からエントリーした多くのランナーが、早春の吉備路を駆け抜け、大会を盛り上げようとさまざまな応援企画やおもてなしなど各種団体の協力のもと実施されます。皆さんも、おもてなしの心で温かくランナーを迎え、沿道からの声援をお願いします。

問い合わせ そうじゃ吉備路マラソン実行委員会事務局 (☎92-8375、そうじゃ吉備路マラソン推進室内)

**県外ランナーを
温かく歓迎**

県外からの選手も増え、ほぼすべての都道府県から参加者が集まります。県外から来るランナーを温かく迎えようと、各都道府県の選手を応援する「のほり」を、市内の小・中学生が手作りしました。会場に掲げ、大会を盛り上げます。

**コースを
広く安全に**

安全に走るためにはコースの幅が大切です。今年は県道清音真金線を1周目は全車線走ることができました。このほか、国道429号についてもコースを広くとります。また、例年よりトイレの数を増やす予定です。

**コーススポンサー
との協働**

民間企業と協働して大会のさらなる充実を図るため、コースの愛称を命名するネーミングライツのコーススポンサーを募集。10kmが有限会社フレヴァン、5kmが株式会社キャリアアプランニング、ファミリー1.5kmがカルピス株式会社に決定しました。協賛するコースの参加者のナンバーカードすべてに、協賛企業名が掲載されます。なお、従来どおりフルは山崎製パン株式会社、株式会社紀文食品、吉備信用金庫、長野病院、ハーフは大黒天物産株式会社の協賛をいただきます。

**フルとハーフ
同時スタート**

今年はフルとハーフが午前9時に同時スタートします。約1万人のランナーが一斉に早春の吉備路へ駆け出します。スタートは特に込み合いますが、コース幅を広く取り、安全には十分注意して運営します。

**宮城っ子
仙台市長が来総**

仙台国際ハーフマラソン大会との相互連携に関する協定に基づき、仙台市立高砂中学校の生徒4人と、そうじゃ・宮城っ子基金対象者のうち1人を大会に招待します。また、奥山恵美子仙台市長がスターターを務めます。応援よろしくをお願いします。



奥山恵美子仙台市長

**ランナーを
演奏で後押し**

沿道では今月号の付録の小旗を振って応援してください。ランナーのパワーの一つとなります。また、総社西中学校、総社東中学校の吹奏楽部と、くらしき作陽大学の学生の金管五重奏団が沿道で演奏し、ランナーをさらに勇気づけます。



コース	スポンサー	愛称
フル	山崎製パン・紀文食品 吉備信用金庫・長野病院	—
ハーフ	大黒天物産(株)	大黒天物産コース
10km	(有)フレヴァン	フレヴァンコース
5km	(株)キャリアアプランニング	もっと自分らしく☆キャリアアプランニングコース
3km	応募なし	—
1.5km	カルピス(株)岡山工場	「カラダにピース」カルピスファミリーコース
800m	応募なし	—